

産学官の連携で安心・安全な暮らしの確保

～包括的連携・協力に関する協定～

広島工業大学のコンクリート試験の効率化に関する研究について、中国技術事務所の施設を活用するなど研究協力を行っています。

包括的連携・協力に関する協定書に基づき、広島工業大学竹田宣典教授及び学生のみなさんが中国技術事務所所有の凍結融解試験機等を使用し「凍結融解試験の供試体の小型化に関する研究」のため、試験を実施しています。（平成29年6月～平成30年3月まで実施予定）

中国技術事務所が所有する試験施設の活用を通して、中国地方の社会資本の品質確保及び耐久性向上に反映されるものと期待されます。

コンクリートの凍結融解試験に用いる供試体を小型化し効率化することを目的とし、供試体の寸法が凍結融解試験の測定結果に及ぼす影響を検証します。



竹田宣典教授（広島工業大学）



凍結融解を繰り返し調査する
凍結融解試験機



JIS規格の供試体（左）
小型化した供試体（右）



試験槽に格納した供試体